

令和元年度第2回小和田公民館運営審議会会議録

議題	1 諮問内容の協議について 2 その他 (1) 第3回小和田公民館運営審議会の日程等について (2) 神奈川県公民館連絡協議会主催事業について
日時	令和元年7月11日(木) 14時00分～15時30分
場所	小和田公民館2階 学習室1
出席者氏名	【出席委員】 佐藤会長、菊崎副会長、青木委員、杉本委員、土田委員、譜久山委員 【事務局】 鈴木館長、新倉主任
会議資料	令和元年度第2回小和田公民館運営審議会次第
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	なし

(会議の概要)

●会長

令和元年度第2回小和田公民館運営審議会の会議を進めたいと思います。はじめに、議事録署名人につきまして、今回は菊崎副会長にお願いしたいと思います。

それでは、「議題1 諮問内容の協議について」を議題といたします。はじめに、委員の皆様が事前に提出した「意見・考え」が配布されていますので、一人ずつ説明をお願いしたいと思います。恐縮ですが名簿順にいききたいと思いますので、青木委員よりお願いします。

●青木委員

青少年育成ボランティアの開設ということで、事業の取り組みからリーダー養成講座への段階的なステップアップがあったらいいなと思いました。中高生のボランティアを募るとするのは難しいかもしれないが、子ども同士の連携というのは、大人が入るよりはいいのかなと考えました。

また、2番目ことでは学力支援として、これから小学生から英語の授業が入ってくることなどを考えて、英語の得意な中学生や高校生が、小学生に簡単なことから入って教えていったらおもしろいかなと思います。あと、シニアボランティアですけど、今お仕事を早めに辞められたりして家にいらっしゃるような方の技術や技能、資格などのお力を借りて地域に還元できたらと思いました。

●菊崎副会長

地域特性・立地特性を踏まえた主催事業について、松浪地区の小和田公民館を中心にこの地区のお宝的なものに合わせた事業というものを考えて行ったら良いと思いました。松浪地区、小和田公民館を中心とした地域で、考えられるお宝を地域の方とできるだけ多くの人と議論して、皆で認識し、共通の情報を持ち、そういうものを事業に計画して行ってはどうか。

2番目の持続的に地域が活性化し、地域力が向上するような次世代を育成する主催事業については、難しいテーマだと思いますが、振り返って見ますと小和田公民館では、いろいろな行事が、小学生、中学生ぐらいまでの年齢をふまえた事業が従来から行われています。それが、うまく連携して成長に伴った事業に参加することができ、年齢に伴った成長がなされれば良いと感じています。そういう中で、当然学校教育で、いろいろな知識を学んでいるわけですが、学校事業では、どうしても色々な面で制約があります。そういう部分を公民館が補完的に補強するような事業を考えていくべきではないか。できれば体験的な事業を検討していくのが良いのではないかと。体験的な事業を通じて、いろいろな精神的な心の部分が成長していくところが多々あると考えます。そういうことを踏まえた、学校の教育を精神的な部分で補完してゆくというような、主として体験を通じた事業を考えて行くのが良い

のではないかとこのことを案として考えました。

●佐藤会長

立地的には、小和田公民館は、松浪小学校の正門側正面に位置していることから、放課後小学生や中学生が遊びにきているのを見かけます。せっかく遊びにきているので、そういう時にもっとここを利用している大人たちとの会話とか接点を持てると良いのかなと思います、遠慮があるのかそういう姿がなかなか見られないのかなと思います。

あと、青推協では、公民館との共催で行っている「おもしろいっぱい遊び空間」というものを行っていますが、地元の小学生を集めて、半日公民館を開放して、いろいろな体験や工作などを利用者の方々の協力を得て行っています。その場で、浜須賀中学校や松浪中学校の生徒たちにボランティアをお願いして、大人が教えるのではなく、まず大人が中学生に教えて、中学生が小学生に教えるという形をとって行っています。なので、中学生が、自分たちが小学生の時に教えてもらったことを今度は中学生になって小学生に教えてあげるとい、ちょうど良い流れが出来ています。おもしろいっぱい遊び空間だけでなく、小学校で行った青推協の子ども大会もそうですし、公民館まつりでも中学生にお願いしています。そここのところをもっと色々な形でやって行かれたら良いのかなと。ただ、高校生になってしまうとぱったりと来なくなってしまうということがあるので、高校生を呼び込める事業が何かできると良いのかなと考えます。

青推協にも投げかけおり、今やっていることをもっと掘り下げても良いのではないかと意見も出まして、それに関しては、青推協でも1年かけて考えて行こうかとなっています。

●杉本委員

持続的に地域が活性化して、地域力が向上するような次世代を育成するという点に関して、自分の身の回りを見ますと、自分も団塊の世代でその子どもや孫が結構います。茅ヶ崎は通勤族が多いというか、元々茅ヶ崎に住んでいたのですが、あとは30年くらい通勤を繰り返して、子どもも一緒についていったことを考えますと、ただその団塊の世代というのは、昔から好奇心が強く集団化する、そういう人たちをうまく取り込んで、事業を開催しながら、次に子どもや孫を巻き込むようなことができれば良いかなと思います。

まずは、我々が一番興味を持っているのは、健康とか地元の名所旧跡を回ったりして、自分たちがした仕事を振り返り確認するといったことかと思、そういうのは色々なところでやっていますので、その人たちをまとめるというか、単発でやるのではなく、定期的にやって、そのあと有料でも良いから反省会でもやればさらに結束力も強まるのではないかなと思います。そうすれば、その輪が広がって繋がっていくのでないでしょうか。

それと公民館の情報発信力の部分です。回覧でいろいろ回ってきますが、たくさんあると上の方しか見ずあとは見ない。共稼ぎの人が多く、なかなか回覧が回らないし、見る機会がない。少なくともこれは伝えたいという時は、カラーで目立つようにするとか、ホームページを強化して、若い人に興味ある題材を提供して、もっと小和田公民館をアピールすることが大事なのかなと思います。

●土田委員

小和田公民館の立地というのは、小学校のすぐそばにあり、放課後の小学生たちが、遊びに行つて親しんでいるのが特徴だと思います。以前、地区社協の子育て広場で、赤ちゃんが対象なのですが、緑が浜小学校でやっていた時期があります。緑が浜小学校の生徒さんが、休み時間に子育て広場の部屋に遊びに来るんです。小さい子たちもとても喜んで、いつも大人が小さい子の面倒をみるというのが慣れているのですが、小学生の女の子が良く遊びに来ていて、とても楽しそうだし、赤ちゃん自身もとても楽しいそうでした。そういうのを見ていたものですから、公民館でも、小学生や中学生を対象に小さい子を遊ばせる講座みたいなものを開いて、保育園にボランティアに行けたらおもしろいかなと。良く老人施設には、小さい子が遊びに行つて、お年寄りには、小さい子が来ると元気で楽しそうなのですが、逆に小学生や中学生が、保育園に行つて小さい子を遊ばせるというのもおもしろいかなと思つて考えました。

●佐藤会長

次に豊田委員の意見については、事務局より説明します。

●事務局

豊田委員からのご提案としまして、一つ目の地域の特性や立地特性を踏まえた主催事業というところの概略は、商店街を活性化する動きがある中で、そういった新たな動きを取り入れながら事業を進めていった方が良いのではないかと。小学校、中学校、幼稚園、保育園等との連携も必要であろうとのこと。

2つ目の次世代を育成する主催事業の概略については、いろいろな団体との協力連携とともに、まず、青少年が現在何に興味を持って、経験したがつているのかを探ること。それによる事業を継続的に行うことが大事なのではないかと、また、時代の流れも考慮し社会生活を含めた文化、伝統を積極的に取り入れるべきだとの意見となっています。

●譜久山委員

中学校からということで、自分自身地域に根ざして生活しているわけではないので、公民館の状況も、自分が知る範囲でしか存じ上げない中で、書かせていただきました。委員の皆さまがおっしゃっているように、小学校のすぐ近くにあるということで、今日も雨宿りをしている子どもがいましたけれど、新しい施設と違うのは、昔から親しみをもって寄ってくる子たちがいたという繰り返しが、温かい関係と言いますか、公民館とか子どもを見守ってくださる青推協とか皆さまとの関係につながっているのかなと思います。

地域行事に参加させていただく度に、子どものためを思って丁寧に準備してくださっているなど感じます。今回の事業の計画ということで、資料を見させていただき色々な講座を開催しているなど改めて感じました。これだけのことをやっている中で、そこが充実して、その中で人がたくさん関わって行くことで、そのニーズと言いますか、今地域にいらっしゃる方、あるいは来られている方がどういう事を望んでいるのかと言うことも吸い上げやすくなると思います。

人を集めるために、インターネットとか SNS などと言ったところから、事業を今までこうやっていたものを、じゃこうしてみようとか、この内容をもうちょっと広げて行ってみようとか、事業の厳選や整理ができて行くのではないかと感じました。ボランティアと一口に言ってしまうがちですが、子ども勉強があって、部活があって、習い事があって、塾があって、ご家庭のイベントがあっての中で、地域に子ども自身が行きたいなど思えるような仕組みや事業、あるいはそういうシステムができれば良いのではないかと思います。さらに他の団体とも連携をしていただいて、それを広げて行くということが、次の世代に伝わって行く一つの方法だと思います。

●佐藤会長

ありがとうございます。一通り皆さんの説明が終わりました。他に何かございますか。

●杉本委員

今コミセンの運営委員をやっています、コミセンでは場所貸しのような感じで、小さい子をただ遊ばせたりするだけの施設みたいになっているような利用も見られます。我々の子どもというのは、就職氷河期があって、結構我々に比べてシビア感じています。そのような世代の若いお母さんが子どもを連れて結構遊びに来ているので、公民館は、プラスで何かためになるというものがあれば良いと思います。

●事務局

小和田公民館は、子育てサークルが他よりも多くて、今4つのサークルが毎週のように活動しています。委員から公民館敷地内の活用できるスペースとか、西側の敷地がもったいないといったお話も聞いてことがありますので、より一層、子どもたちが来て親子で遊べるようなところが何かのタイミングでできれば、事業の企画づくりに繋がるかと思っています。計画上予定されている耐震改修やリフレッシュの工事の中でそういったことができればと思います。

●佐藤会長

北側の公園は、どこの所管ですか。

●事務局

公園ではないですが、公民館の敷地になります。

●佐藤会長

以前は、遊具などがありました。子育てサークルも4団体あり、大人の色々なことをやっているサークルもありますし、それらがうまく絡み合えば良いのですが、なかなかそうできる場がない。利用者懇談会では普段どのような話し合いがあるのでしょうか。

●菊崎副会長

利用者懇談会の中に世話人会があります。各サークルの活動の中で、困りごとあるいは要望、改善して欲しいことを世話人会が吸い上げて、それを利用者サークルと世話人会と公民館で情報意見交換しながら、より良い方向に持って行く活動です。利用者懇談会全体の主な活動としては、年1回の総会をはじめ、事業として初夏の草むしりや年末の大掃除などがあります。

また、サークル同志での交流は、個人同士ではあるけれども、サークル間ではあまりなく、そういうものを世話人会で吸い上げて、公民館といろいろ協議していければと思っています。

●事務局

小和田だけでなく5館の利用者懇談会の代表の方が集まって、先日も他館との意見交換を行っています。5月には利用懇談会の全体の総会の中で、皆さんからのご要望をお聞きする機会もありました。

●佐藤会長

おもしろいっぱい遊び空間では、公民館の方で地域の方やサークルへ、ここの部屋で何かやってくれませんかとお願ひしているので、そういう事がもっと広くできると良いと思います。後、公民館お掃除隊というのがあって、子どもたちも参加していますし、そういうところに大人も子どもと一緒に何かできると良いと思います。

●事務局

お掃除隊では、1年間ごとに小学生を募集しています。今週末から今年度第1回目が始まりますが、今年は回数を増やし、さらに自治会の方にお手伝いいただき地区のごみ拾いの見回りに一緒に行くことや、サークルに協力いただき障子の張り替えなども考えています。

●佐藤会長

そういうのは、大人の人が、子どもにたちに教えて、今障子がある家が少ないので、そういう体験みたいなものも良いのかなと思います。

●土田委員

お掃除隊というのは、子どもたちだけですか。

●事務局

保護者の中から大人のボランティアの方も募集し、事業に協力してもらうこともあります。

●譜久山委員

どのくらいお子さんが来られますか。

●事務局

20名募集で18名です。

●青木委員

1年生のときから参加している女の子がいて、お掃除が好きだから家でもしている子もいます。

●事務局

その子が大きくなると小さい子の面倒を見るという流れもあるようです。

●佐藤会長

対象が小学生のみでなく中学生までにすると広がっていくかもしれない。でも今どきの中学生は忙しいですからね。

●譜久山委員

行けるような環境が作れば、ずっとやっていた子が参加できるかもしれない。

●土田委員

どの程度のお掃除をするのですか。

●事務局

初日は、自分の部屋を振り返ろうということで、片付けの先生に来てもらって、公民館の実物の机の引き出しを子どもたちに整理してもらいます。そのためにはどうしたら良いのというところからス

タートしまして、地域のごみ拾いに参加してもらったり、年末に利用懇さんの大掃除にも一緒に参加してもらい、最後の方では花を周りに植えてもらったりすること等を予定しています。あと今年は毎回参加して欲しいこともあり、お掃除隊の缶バッジを作って意識を高めることを考えています。

●佐藤会長

結構、子どもたちと大人とが関わっていますが、それをどう深くして行き広げて行くかを考えなければいけないところだと思います。それが答申の流れかと感じます。答申に向け過去のように、一人ひとりの意見を冊子にすること、あるいは話し合ったものを1枚なり2枚なりに集約したものにするのかを決めて、このあとの話をしていったらどうでしょうか。委員の皆さんのお話を聞くと細かいことはあっても、言っていることは一緒だと思います。

●事務局

前回お配りした2年前の冊子は、皆さんの意見があり、総括してまとめています。同じつくりもあると思います。あるいは、まとめの部分の少しふくらまして、審議会としての意見を一枚に集約すると形もあると思います。皆さんが提言しやすい形で方向性を定めていただければと思います。

●佐藤会長

今みたいな形で話して行って、最後に自分たちの意見をまとめてみてはいかがでしょうか。青推協の役員会でも少し話し合っ行ってこうと思っています。

●事務局

委員の皆さんの話の中で色々なキーワードが出てきて、事業の話もいっぱい出てきています。例えばこんな事業をやったら良いのではないかとといったものが例示としてあり、それらを事業の提言として記載したらイメージしやすいかもしれません。

●佐藤会長

こんなことをやったら良いのではないかとといったところまで話しを進めて、それを公民館にいくつか提示して公民館で選んでもらう形でも良いのかなと思います。

●事務局

菊崎副会長は既に具体的なことを書いていただいていますし、豊田委員は地域の商店街の連携というところの視点で触れていただいています。中学生のボランティアという部分では、公民館ではあるのですが、青木委員や会長からの指摘で高校生、大学生のボランティアの年代が少し抜けているとの指摘もございました。今年の夏休みでの講座で、大学生のボランティアに協力できないかと若干動いたことがあったのですが、実現にはいたらなかことがあったので、高校生、大学生の方を巻き込みたいと思います。杉本委員や譜久山先生のSNS等による発信も、われわれ弱いところなのですが、やって行かなければならないところです。これまでにでてきたキーワードを取り込めば、だんだんまとまって行くのかと思います。

●佐藤会長

大学生の夏休みは、小学生、中学生と時期が違うこともあり、募集してもなかなかということがあります。

●事務局

夏休みだとアルバイトや帰省等もありますが、ここに住んでいる大学生もいますので何とかしたいなと思っています。

●佐藤会長

講座は室内が主になってきているし、以前裏側に畑を作ったことがあったと思います。そういう畑作りも子どもたちに体験させたいと思います。浪小の教頭先生が、この辺は田んぼがないので、そういうところに集まる生物を触ったり見たりすることができるようにと、50周年の時に授業の中でピオトープを作ったことがあります。今はいろいろな生物が住みついています。給食室の南側にあります。幼稚園の子たちが見に来ています。公民館で池とか作れないでしょうけど、折角井戸もありますので、自然になにか触れ合えることができれば良いと思います。

●杉本委員

農業体験とかですね。

●菊崎副会長

皆さんの話を伺っていて、各団体と公民館との情報共有はもっともっと必要になってきていると思います。例えば、松浪地区の青少年育成推進協議会がやっている内容が公民館側に共有されていない、ただお互いに目指している目標というのは同じだ、というようなことがあるかもしれません。

●佐藤会長

おもしろいっぱい遊び空間では、一緒にやっているようなもので、こちらからも担当者を出して何をやるか話し合っていてやっています。青推協は各小学校区にあります。対象としているのが青少年の中でも小学生から中学生が主となります。高校生以上になると、元保護者も多いので子どもに関する情報はありますが、どうしても少なくなってしまう。色々な団体さんといろんなことが出来たら、子どもたちも楽しいことがいっぱいあると思います。色々なサークルで、子どもが参加できる時間でやっているサークルさんで子どもでもOKですよという絵を描くサークルであったり、今学校で少ししか使わなかったりする彫刻刀を使うサークルであったり、そういうことを体験するといったことも団体や地域の協力がなくてはできないと思います。また、危ない危ないだけではいけないと思っており、ブランコは危ないから撤去、滑り台は危ないから撤去とやってきている年代も多いので、そうじゃないのだと教えてあげられることもできたら良いのかなと思います。

●杉本委員

美住町の自治会で、えぼし岩に渡る事業をやっていました。小魚がいっぱいいて喜んでいたら聞きました。そういうのは必ず親子一緒にないと危ないので、地域で多様な世代で良い体験ができたのではないかと思います。

●佐藤会長

えぼし岩の体験というのは、もともと小学校の先生たちでやっている団体がありまして、夏休みにそこでシュノーケリングをするというのがありました。浪小のプールでシュノーケリングの練習をした後に、えぼし岩に渡って水中生物を見るという体験がありました。そう言うのは子どももやってみたいと思うし、その先生は、親の許可があつてのことですが、ザリガニ釣りに連れて行ったり、様々なことをやってくれている先生がいました。せっかく海のそばにいます。そういうことも少なくなってきました。もうすぐ浜降祭ですが、大岡越前祭も知らない中学生もいてびっくりします。

●杉本委員

地域の活性化ということでは、以前子ども神輿がありましたが、先導する大人がいなくなり、また近隣の商店も少なくなりました。そういうことから活性化してゆくのも良いのではないかと思います。

●佐藤会長

子ども会もなくなってきました。自治会の方で子ども部として残してくれているところもありますが、会としてはこの地域だけでなく少なくなってきました。親御さんの事情や子どもの気持ちなど理由は様々でしょうが、親子で何かやるということが減ってきていると感じます。

●菊崎副会長

今いろいろな問題が出てきており、ますます繋がりが希薄になってきている中で、そういう意味においても、地域の特性、資源的なものを皆で共有して、そこから地域の愛着というものに結びついていけば良いのかな。出来るだけそういう中で、お父さんと保護者が参加しやすい仕組みというかアイデアを盛り込んだ事業に結びつけて行くことが必要ではないかと感じています。

●佐藤会長

子どもの見守りを地域でやっていただいているのですが、長くやっていると子どもたちも立ってくれている人の顔を覚えて、あいさつしたり声をかけたりするという話は聞きます。でも、そうなる前は何かあって叱っても、逆に怪しい人に見られてしまう。小学校で子どもパトロールのための腕章を作ったこともあったのですが、それを付けていないと、何かあって子どもが危ないと思って注意しても、変な人に言われたとか、そう言うふうに思われてしまう。地域の子もたちと大人たちのお互いの顔が見えていないと、見えてないまま子どもたちも大きくなって、どんどん外へ出て行ってしまい、地域に戻って来ないといったことも考えられます。

●杉本委員

それは、地域の子どもの親があまり地域のことに参加していない状況も考えられます。

●佐藤会長

子どものことなので保護者にもっと参加して欲しいことがいっぱいあるのですが、自分の仕事が忙しいとかの理由で出て来ないことが多く、中学生になると成績が関わってくると保護者は学校行事とか一所懸命出てくるのですが、地域の事となると、子どもがそこに暮らしていることなのに、なかなか地域の事には参加してくれないといったことも出てきます。そういう人たちも一緒に、30代のお母さんとか40代のお父さんとか若いお父さんお母さんたちも一緒に参加できるような事業があれば、子どももついてくるでしょうし、何か良いことがないかなど。昨年、公民館で赤ちゃんとお父さんといっしょのダンスがありましたが参加人数が少なかったと聞いたのですが、どうでしょうか。

●事務局

それほど多い人数ではなかったですが、複数のお父さんと赤ちゃんに参加いただきました。今年は、お父さんと小学生の子どもの料理教室を行いました。

●佐藤会長

おもしろいっぱい遊び空間とか見えていますと保護者が一緒に来てくれる場合が多いです。子どもが関係すると親も結構出てきます。公民館まつりも子供が来ていると親も一緒に来るということがあるので、何か親子で一緒にできるような事業がもっと増え、親も参加すれば子どももついてくるし、子どもも大きくなってその下の子にとだんだんと、そういうサイクルができてくれれば良いのかなと思います。お父さんと子どもの料理教室の参加人数は。

●事務局

実習室が大きいので、8組でいっぱいになりました。

●譜久山委員

人気のある講座のデータの的なものは、あるのでしょうか。

●事務局

大体の傾向はあります。お父さんと子どもの料理教室は、松浪小学校に通っているお父さんが講師です。国の方でおとう飯と言うものを進めているのですが、そのおとう飯の大使になっている方が、この地域にいらしたので講師をお願いしました。

●譜久山委員

商店街の話がありましたけれど、この地域は、個性的な人気のある店が結構あるように見受けますので、提携したり、力を借りるようなことができ、もしそのような事業があれば人気が出るかなと思います。

●佐藤会長

たとえば地域のお店を開いている方に来てもらって、料理教室などが考えられます。ただ、商店街がどの程度なのかあまり見えてこないといった感じもします。

●事務局

駅周辺の商店街も含め解散する商店街も増えてきて、ここの桜道の皆さんは、さくらみちブラボーと言う商店街を新しく立ち上げ、若い人がイベント等を積極的にやっています。近隣のラチエン通りも頑張っています。

●佐藤会長

そういうのが、消費者の方にあまり見えていない部分もあるかもしれません。

●事務局

7月の後半も、その桜道の店が集まって子どもたちを対象に夏祭りをやります。

●佐藤会長

活発に動き出している商店街があるのであれば、そういう人たちに協力してもらうことも良いと思います。そういう団体があつたということを知らない人もいっぱいいるでしょうから、子どもたちに何かやってもらえることをここでやってもらえば、子どもも集まるし若い親も来るでしょう。地域をもっと利用してやってもらおうと良いと思います。PRとか呼びかけも大きいかなど。ある程度人数集

められるよう行事であれば、小学校にポスターでもなんでもやるとかそういうことを利用してPRすることも大事だと。それこそ、さっき言われた回覧板で下の方へ行ってしまい、上の方だけ見て終わることにならない工夫も大事になります。

●事務局

公民館の情報誌の今月号は夏休みで子ども事業が多いこともあり、イラストを多用していつもよりは目立ちやすくしていますが、白黒印刷で目立ちにくい部分もあります。

●佐藤会長

絵を描いている方たちにお願ひして、それをコピーすることも考えられます。

●事務局

カラーといったことでは予算と人手の関係もあるので簡単ではございませんが、目立つ工夫は考えて行かなければいけないことだと思っています。

●佐藤会長

青推協とか、なみっことかは、目立つように紙の色を変えています。紙の色であればそんなに予算もかからないと思います。

●杉本委員

公民館の色で統一するとか。確かに回覧はすぐくるので、少しでも目立たせないといけないと思います。

●菊崎副会長

自治会の掲示板に掲示することも並行してやると良いと思います。

●佐藤会長

青推協で子ども大会とかやるときは、ポスターを作って貼ってもらうように依頼しています。小学校の入り口にも貼ります。公民館の前だけでなく、たまやさんやセブンイレブンとかお願ひすると貼ってもらえることもあります。商店街の方にお願ひして貼ってもらうのも良いと思います。

●菊崎副会長

地域の情報をもらって、公民館に集まるような体系ができると良いと思います。公民館としてやれる範囲とか規模も当然あるでしょうし、各団体さんが学校の施設を使って活動する、そういうことが公民館にも情報が伝わると良い。そこに参加できるかは、いろいろ制約があるでしょう。そういう団体さんの活動が、公民館に情報が伝わるような何か仕組みができると良いなと思います。

●佐藤会長

そういうところで工夫をして行って人を集めて行くのは良いと思います。魅力的な事業があると良いですが、まずは何をやっているかが地元の人にわからないと集まって来ないでしょうから、やはりPRが一番大事。小学校に入った子にここは、集合場所になったり、中継点になっています。親も公民館ということで、小学校からも近く安心すると思います。それをもっと利用しない手はないかなと。子どもたちが安心して集まって遊んでいられる場所、親も安心して送り出せる場所がここなのかなと思います。今、公民館でこれを行っているから遊んでらっしゃいみたいなことが出来ると良い。こういう感じで話して行って最終的にはどんな事業が良いのか提案するということが良いでしょうか。

●事務局

委員皆さんから多くのご意見をいただきました。あと2回でまとめるといったスケジュールの中では、次回に、これでのものをまとめたたたき台を作成し、それをもとに議論という形が良いのかなと思いますかどうか。

●佐藤会長

そのような形であれば、議論し易いと思います。皆さんいかがでしょうか。

●各委員

異議なし。

●佐藤会長

それでは、「議題2 その他」に移ります。事務局、説明をお願いします。

●事務局

「議題2 その他」について、順次、ご説明いたします。はじめに、「(1) 第3回小和田公民館運営審議会の日程等について」ですが、次回の第3回会議につきましては、11月21日木曜日、時間は本日と同じく14時からを予定しております。近くなりましたら、別途、文書でご案内をさせていただきますが、委員の皆様には、予定をしておいていただくようお願いいたします。

次に、「(2) 神奈川県公民館連絡協議会主催事業について」ですが、先日、5月31日に5公民館の運営審議会委員連絡協議会が開催され、委員の皆様のご出席ありがとうございました。この中で、11月8日金曜日に「公民館館長・公民館運営審議会委員等研修会」が座間市で開催され、令和2年1月17日金曜日には、「神奈川県公民館大会」が愛川町で開催される旨の報告がございました。これらの県の事業に例年、複数の方に参加をお願いしています。そこで、お忙しい中恐縮ですが、今年度につきましては、それぞれ2名、計4名のご参加をお願いしたいと思いますので、ご参加いただける委員の方を決めていただくようお願いいたします。

●佐藤会長

今年は、2名ずつということで、神奈川県公民館連絡協議会主催の2つの事業に、参加いただける委員を決めたいと思います。

●事務局

異動については、5館まとまってマイクロバスでと思っておりますが、まだ調整ができておりません。

●佐藤会長

別に市の研修会もありますか。

●事務局

秋以降に市の研修会を予定しており、こちらは皆さんの参加をお願いします。

●佐藤会長

少し先のことなので、最終的にいつまでというのはありますか。

●事務局

それぞれ2、3週間前くらいには報告することになると思います。

●佐藤会長

市の研修会の前までに各委員で予定を組んでいただいて、公民館にお知らせする形で良いでしょうか。

●事務局

分かりました。仮に3、4名だった場合は、2名ですので会長と調整させていただきたいと思えます。

●佐藤会長

そういう形をお願いします。以上で本日の議題を全て終了いたしました。本日はありがとうございました。